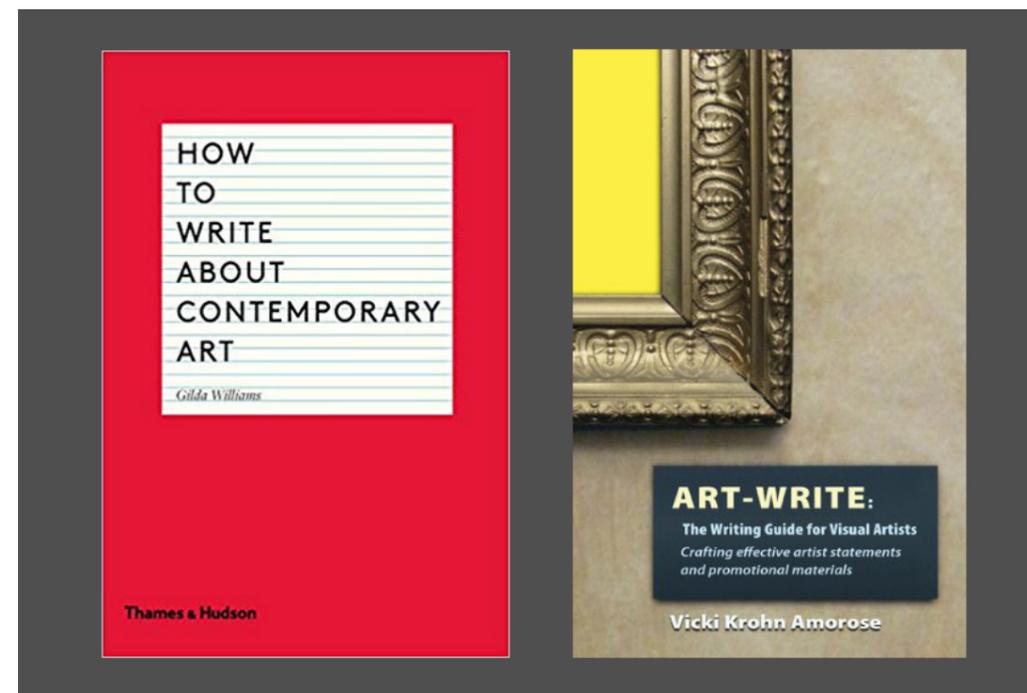


【第7回 ステートメント】

日時：2019年12月17日（火）17:00~19:00

場所：東京藝術大学上野校舎 中央棟 1F 第2講義室



参考図書「How to Write About Contemporary Art」

美術とは「言葉で言い表せないことを表現するためにあるもの」なのでしょうか。「百聞は一見にしかず」ということわざがあるように、美術作品の創作に携わる人間の中には、作品を語る言葉を否定的に捉える傾向もあります。しかし、ビジュアル・アーティストもまた創作活動の様々な局面において、自身の考えを文章で表明する機会に遭遇し、それらを完全に回避することが難しいことも事実です。「ステートメント（声明文）」とは、一般にアーティスト自身によって作品と共に提示される、作品の背後にある考えを文章化したものです。作品のテーマ（主題）やコンセプト（制作意図の要旨）、モチーフ（題材）について詳述するだけでなく、制作プロセスやその素材について重きを置くこともあれば、作品制作の動機（出自やバックグラウンド）やリファレンス（参照先、引用先）に言及する場合もあり、実に多種多様な観点が試みられます。ここではまず、ステートメントの執筆に際した前提事項を確認しながら、様々なアーティストのステートメントの事例を参照してその読解を行います。鑑賞者に向けて作品の理解を促し、あるいはその意味を補完するテキストの可能性を探求していきましょう。

【講座の年間プログラム予定】

- ① ポートフォリオ (6月)
- ② アーカイブ (7月)
- ③ プロポーザル1 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ④ プロポーザル2 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑤ プロポーザル3 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑥ プロポーザル4 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑦ ステートメント (12月)
- ⑧ トーク (12月)
- ⑨ インターネットとソーシャルメディア (1月)
- ⑩ 英語 (1月)